

おひさま サタタ

2014



vol.139

8



はいっポーズ!

《置戸地区・雄勝》

小林由紀子さんと夏樹^{なつき}くん

(紹介は2ページです)

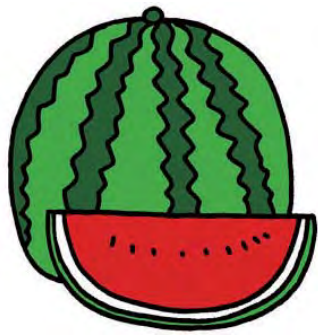
特集

平成26年度
おまつり紹介



季節の薫り

スイカの収穫



7月中旬、ジリジリと照りつける日差しを受けるなか、小玉スイカ『夢の滴』の収穫が始まっている。葉を大きく広げ、光をたくさん浴びたスイカは昼夜の寒暖差が大きい、きたみらい地域の環境のもと、ハウス内で今年も甘く実っている。

水分を失いがちな夏の季節に、カリウムとブドウ糖をバランスよく、おいしく健康的に摂取できる。

夏休みを迎え、盆を過ぎるまでの時期は特においしい。種が小さく食べやすく、大きいスイカは食べきれないという方にもオススメです。家族が集まった際には是非『夢の滴』をご賞味あれ。

(高田 陽介)

7月17日、訓子府柏丘の西森信夫さんのハウスにて撮影。
きたみらいすいか研究会は今季、11戸で小玉・大玉スイカ計1230坪を栽培しています。

表紙紹介

樹のように のびのびと

ジリジリと日差しが照りつける7月30日、お宅を訪問すると小林さん夫妻と夏樹くんが出迎えてくれました。とにかく車が大好きな夏樹くん。おもちゃで遊ぶだけでなく、車のキーを挿そうとしたり、運転席に乗ってハンドルを握ってみたり、運転した気分になって楽しんでいきます。家の外に遊びに出るとトラクターに乗せてお任せです。

お父さんやお母さんについて、牛舎にも毎日行っています。動物は全く怖がらないのだそう。取材中も牛を指さして「バーバー！」と声を上げていました。

そんな夏樹くんにお父さんとお母さんは「優しく健康に、樹のようにのびのびと育ってほしい」と話してくれました。

(石井 睦美)



【ご家族紹介】
左から～おじいちゃんの良輝さん(62)、お母さんの由紀子さん(35)、長男の夏樹くん(2歳1ヶ月)、お父さんの健さん(36)、おばあちゃんの礼子さん(59)
小林さんは経産牛や育成牛、65頭を飼育する酪農専業農家です。

もくじ CONTENTS

特集①	平成26年度	おまつり紹介	4
○季節の薫り	2
○表紙紹介	「樹のようにのびのびと」	2
○JAきたみらい	ホットライン東西南北	6
○ほのぼの広場	10
・きたみらいのホームページ	
・なかよし夫婦	
・わが家のアイドル	
・ブリティーウーマン	
・大きくなったら	
・元気な先輩	
・思い出の写真	
・まちがいきがし	
・読者の声	
○JAからのお知らせ	14
○おひさまサラダクッキング	20
「夏野菜とイカのピリ辛炒め」	
「イタリアンそばサラダ」	

精 集

平成26年度 おまつり紹介

きたみらい管内の各地では7月に入り各種の催しが行われました。今回は「きたみらい乳牛共進会」「ふるさとまつり」「ほんちまつり」を紹介します。



▲好評のきたみらい牛乳の無料配布

第11回JAきたみらい乳牛共進会

第11回JAきたみらい乳牛共進会が7月19日、当JAときたみらい酪農振興協議会の共催で、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われ、77頭の乳牛が体型の美しさや骨格の力強さなど、資質を競い合いました。会場では部門毎の予想コンテスト、きたみらい牛乳の無料配布、子ども向けのお楽しみコーナーや焼肉広場、お楽しみ抽選会を開催。大勢の来場者で賑わいました。



▲主催者を代表し、開会の挨拶を述べる西川組合長



▲審査員を務めた帯広市の酪農家・加藤道博氏



▲未経産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん

- 【未経産の部】 最高位 「ヨシノファーム ジャーランチエ アイカ」 北見 吉野 英之氏 (左2頭目)
準最高位 「バレルファーム ミラクル ジャグラー」 上常呂 神田 典廣氏 (左1頭目)
- 【経産の部】 最高位 「RCP アナザーワールド J シドニー」 置戸 ローヤルチャンピオンプロジェクト (右2頭目)
準最高位 「ロツクウ ビービー アリゼオ」 北見 (有)上野牧場 (右1頭目)

ふるさとまつり

青年部訓子府支部(佐々木利治部長)は7月14日と15日の両日、第35回ふるさとまつりを町や他の青年団体と共に開催しました。前夜祭では「やられたらやりかえす青年部だ!」と昨年のドラマを彷彿させる図柄の行灯でパレードに参加。来場者へアピールしました。



▲見事、行灯パレード話題賞を受賞した力作で来場者へアピールした青年部員のみなさん

ほんちまつり

北見の夏を彩る「第61回きたみほんちまつり」が7月18日から20日まで、北見市内で行われました。初日の「舞踊パレード」には市内31団体、約2900人が参加し、JAきたみらいからも役員や組合員、青年部、女性部、フレッシュミスのみなさん約100人が、浴衣や法被姿で参加。沿道に集まった一般市民にJAをアピールしました。



▲威勢の良い掛け声に合わせてながら中心商店街を踊り歩く参加者のみなさん



▲出発前にみんなでパシャリと記念に1枚

温根湯

温泉街 活性化に

～カールおじさんなど 5体がお披露目～



▲見事な出来映えのかかしが立ち並ぶ

温根湯地域の『かかしプロジェクト』が8月1日から9月中旬まで温泉街のあちこちに50体ほどのかかしを展示しています。

今年、JA青年部作成のカールおじさんやJA職員作製の酪農をテーマにした本物そっくりに仕上げたホルスタイン牛などの合計5体がお披露目されました。

温根湯温泉といえば今年5月に入場者数50万人を達成した『山の水族館』。北見市の温根湯温泉街再生整備事業が『まちづくり情報交流協議会 第9回まち交大賞』を受賞。地域住民も一緒になって温泉街活性化に取り組んでいます。

温根湯地域活性化の一助となればとJA青年部員は仕事を終えた夜に集まり、JA職員も業務の合間に1ヶ月間を要して完成した作品はどれもお見事。

夏本番を迎え、温泉に入りながらかかしを見るなど一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

(土屋 正樹)

相内

パークゴルフ 日和の中

～青年部・フレミズ合同パークゴルフ大会～



▲パークゴルフを楽しむ参加者のみなさん

青年部相内支部（小野博之 支部長）とフレッシュユミズ相内支部（小野剛美支部長）は7月17日、モイワスポーツワールドで親睦パークゴルフ大会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ絶好のパークゴルフ日和の中、青年部員11人、フレミズ4人が参加しそれぞれチームに分かれてプレーしました。

普段パークゴルフをする機会がないため、好プレー珍プレーが続出。楽しくプレーすることが出来ました。

終了後には表彰式と懇親会を市内の焼肉バイキング「ウエスタン」で行い、競技に参加できなかった部員や子供たちを含め、総勢30人で焼肉を食へながら和やかに懇親会を行いました。

(梅澤 大)



▲焼肉を囲んで笑顔を見せる参加者のみなさん

作業の合間に 憩いのひととき

上常呂

～講習会・交流会に 生産者ら70人参加～

上常呂玉葱振興会（穴田惣一 会長）は7月3日、生産者講習会と交流会を開き、生産者ら約70人が参加しました。

網走農業改良普及センターの中川専門普及員を講師に招いた講習会では、病害虫の発生したサンプルを観察したほか、これからの時期に注意が必要な管理作業などについて学習しました。

また、交流会開催に先立ち共励会の表彰が行われ、個人の部最優秀賞の今田俊博さんほか、受賞した方々に賞状と記念品が贈られました。

伊藤正一副会長の乾杯の音頭で交流会がスタートすると、会場は焼き肉の香ばしい匂いと賑やかな笑い声に包まれ、参加者のみなさんは憩いのひとときを楽しんでいました。

穴田会長は「今年も高品質なきたみらい産の玉葱を消費者へ届けられるよう、頑張りたい」と話してくれました。

(埴山 里子)

置戸 青年部員が 本音で語り合う

～エリア間交流に 両部員34人が参加～



▲各班の発表に耳を傾ける部員のみなさん

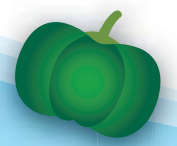
JAきたみらい青年部置戸支部（中川隆支部長）と訓子府支部（佐々木利治支部長）は7月17日、訓子府町若富倉庫でエリア間交流事業を実施。置戸支部13人、訓子府支部21人の合計34人が参加しました。

当初は冬場に年1回の実施を計画していた本事業ですが、交流の場をもっと広げていきたいとの意見により、夏と冬の年2回開催となりました。

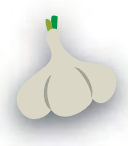
今回は支部混合で8人前後のグループに分かれ、「青年部活動での目的は何？」「その目的を達成するためにはどんな活動を行っていききたい？」などのテーマで話し合いが行われました。

様々な意見が出され、両支部長は「率直な意見を出し合って交流を深めていきたい。今後も活発な意見を出して活発な活動を行っていききたい」とまとめました。意見交換後は焼肉を囲み、より深い交流が図られていました。

(山内 庸平)



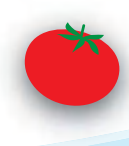
東



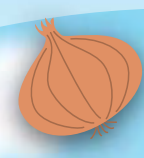
西



南



北



端野

馬鈴薯の収穫を控え

～青空教室に91人が参加～



▲職員の説明を聞く生産者のみなさん

端野町馬鈴薯振興会（島倉英一会長）は7月17日、4会場で青空教室を開き、生産者91人が参加しました。

講師に名古屋、大阪の市場から馬鈴薯担当者を迎え、平成26年産販売情勢と今後の見通しが話された後に、当JA技術開発グループ担当者から生育状況と今後の栽培管理について説明を受けました。今後は疫病や軟腐病が発生しやすくなるので注意が必要と呼びかけ、事務局からは収穫から集荷時におけるの注意点を話しました。

説明後は選別目合わせを行い、生産者のみなさんは写真と実際のサンプルを比較しながら熱心に説明を聞き、疑問な点は質問をして、これから始まる収穫、選別作業に向け注意点を確認しました。

（高田 陽介）

北見

秋小麦 生育は平年並み

～きたほなみの圃場を巡回～



▲きたほなみの生育状況を確認する役員のみなさん

北見市麦作振興会（石原正勝会長）は7月24日、秋小麦（品種：きたほなみ）の圃場巡回を行い、役員14人が参加しました。

当日の最高気温は30℃まで上がり、朝から晴天のもと、参加者は車3台に分かれて巡回を開始しました。川東、仁頃、美里など約10カ所の圃場を回り、実際に小麦を手に取りながら、草丈や粒数、登熟状況などを確認しました。石原会長は今年産の出来について、「昨年産に比べて草丈は短めだが、生育状況は平年並み」と話し、「今後の天候次第だが、順調に収穫を終えたい」と意気込んでいました。

北見地区では組合員97戸が約690畝の秋小麦を作付けしており、収穫は7月下旬より始まっています。

（横田 佳織）

留辺蘂

小麦に興味津々

～留辺蘂小学校食育～



▲小学生に説明を行う坂下修一支部長

青年部留辺蘂支部（坂下修一支部長）は7月18日に、留辺蘂小学校の4年生を対象とした食育活動を行いました。

当初の予定では、玉葱の葉わけの体験学習や、実際の機械の説明などの授業をする予定でしたが、当日の天候が心配されたため、急遽学校近くの坂下忠さんの圃場で刈り取り前の小麦についての授業を行いました。

青年部からは、秋まき小麦の用途や収穫時期、病害虫などについての説明を行い、生徒たちは熱心に説明を聞き普段触れることのない小麦に興味津々でした。

質問タイムでは、「この小麦は何になるのか」など小麦に関するたくさん質問を受けていました。

（梅澤 大）

訓子府

つかの間の旅行でリフレッシュ

～女性部道内視察研修に45人が参加～



▲十勝ヒルズにて園内の紹介を受ける部員のみなさん

女性部訓子府支部（林比呂子支部長）は18日と19日の二日間、道内視察研修を実施し、部員45人が参加しました。

天候にも恵まれた研修初日、札幌へ向かい四季劇場にて「オペラ座の怪人」を鑑賞。参加した部員は迫力ある舞台装置や歌声に圧倒され、ストリーに入り込んでいました。夕食時には林比呂子支部長が「せっかくの外泊ですので、仕事のことは忘れて楽しみましょう」と挨拶。話にも花が咲き、日頃の疲れを吹き飛ばすような大きな笑い声に包まれていました。

翌日は柳月スイートピアガーデンに立ち寄ったのち、十勝ヒルズへ。色とりどりの花の中を散策したり、取れたて野菜を使ったピュッフェを楽しみました。

連休初日ということもあり、パーキングエリアの混雑にも巻き込まれましたが、収穫シーズンを迎える前の束の間の休息となりました。

（石井 睦美）

わが家のアイドル



置戸地区・安住
ひいろ
篠原 日彩ちゃん(4歳)

周囲を彩るアイドル

緊張していたのかしばらくの間お父さんにべったりだった日彩ちゃん。最近のマイブームは動物の書いてあるカードで神経衰弱をすること。取材時には3回連続で正解を引き当て、隠れた才能にご両親もビックリ。外で遊ぶのも大好きだそうで、日彩ちゃんの腕はお母さんよりもこんがり焼けていました。

日彩ちゃんは取材中なかなか笑ってくれなかったのですが、カメラを向けたとたん、にっこり笑顔に。「かわいいね」と声をかけるとしっかりポーズをとってくれました。好きな食べ物はイチゴ、ドレスを着て遊ぶのが好きという日彩ちゃんはまさにアイドル！と言いたくなるようなお子さんでした。今はちょっぴり人見知りですが、名前に込められた思いのとおり「お日様のように周りを照らして彩る」女の子に成長しそうです。(石井 睦美)

日彩ちゃんは置戸地区・安住の篠原正博さん、亜実さん夫妻のお子さんです。お父さんの肩に乗って撮影しました。

きたみらいの ホープさん



天気を見極められるように

上常呂地区・広郷
かける
西野 翔さん(19歳)

- 趣味は？
食べること
- 好きな食べ物？
メロン。夏の暑い日は特に果物が食べたいですね。
- 理想の女性は？
料理の上手な人
- 農業で学び実感したことは？
毎年天気が違うのでやるのが違う。防除などを見極めるのが難しいが、育てた作物でいいものがとれたときは嬉しいです。
- 今後の抱負は？
早く仕事を覚えて、一人で何でもできるようになりたいです。(高田 陽介)

翔さんは畑作物を作付ける繁さん、篤子さんの長男で、就農して2年目になります。

Pretty Woman ウーマン

◆出身、自分の性格、ご主人と知り合ったきっかけは？

札幌市出身で、夫とは大学のゼミが一緒で仲良くなったのをきっかけにお付き合いするようになりました。

私の性格はおおざっぱで、何事もテキトーなところがあり、夫はきっちりしているので、バランスが取れています(笑)

◆お子さんは？どんなご家庭ですか？

子どもは小学校2年生の娘と5歳の息子がいます。休日には、家族で歌ったり踊ったりしていて、とても愉快的な家庭です♪

◆趣味は？

お酒を飲むことが大好きで、家で一人で飲むくらいです(笑)でも、みんなで飲むのも大好きで、この間のフレミズの視察研修でも、楽しく飲むことができて良かったです(^ ^)

◆組織活動で楽しいこと、活動に対する抱負は？

人見知りするタイプでしたが、本部役員をするようになって色々な支部の方との交流が楽しくなりました。次の本部行事の運動会でも他の支部の方と交流できるので、今からとても楽しみです！残りの行事も連絡ミス等ないように気をつけて、みんなに楽しんでもらえるよう図っていきたいです。



人との交流が楽しい

上常呂地区・広郷
大丸 美喜子さん(32歳)

今回はフレミス上常呂支部長の丸山さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

Qいつ結婚しましたか？

昭和62年に結婚しました。青年団活動を通じて仲が深まり、気付いたら隣にいた、という感じですね。

Q趣味は？

博敏さん……機械いじりです。仕事を苦に感じないので、いつも何かしら仕事に関することをしています。

まゆみさん……テレビ中継でファイターズの応援をすることです。

Q思い出に残っていることは？

2012年に4トトラックに馬鈴薯を積んで、東北まで行ったことです。

2人で長い時間一緒に過ごしたこと、震災後の街を見て同じ景色を共有したことが今でも強く印象に残っています。

Qこれからやりたいことは？

昔はお父さんが青年部の活動で家にいないことが多かったため、これからは地区内のみなさんと計画している旅行に参加したり2人でゆっくりしたいですね。

Qお互いの感謝の言葉

博敏さん……お母さんが中心になって家族の仲をとりもってくれています。お母さんの笑顔が助けてくれます。

まゆみさん……長い収穫作業の中でも、いつも楽しく仕事出来る雰囲気作りをしてくれてありがとう。(石井 睦美)



ながよし夫婦

これからは ふたりの時間を大切に

訓子府地区・北栄
ひろ とし
南 博 敏さん(54歳)
まゆみさん(52歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

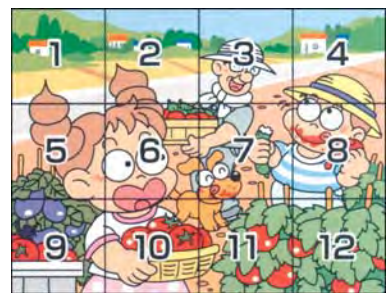


7月号クイズの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「2、4、7、9、10」でした。正解者28名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・大関 博子さま (温根湯)・長谷川 和子さま (温根湯)
 - ・高橋 美智子さま (相内)・田原 トシ子さま (相内)
 - ・藤本 智恵さま (置戸)・木島 幸子さま (訓子府)
 - ・杉田 幸子さま (訓子府)・草場 久美子さま (上常呂)
 - ・黒須 来春さま (北見)・戸田 時春さま (北見)
- 以上の方々には、JAきたみらい「焼肉のたれ」と「白花豆のドレッシング」をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらい新商品のドレッシング2本セットをプレゼントします。

毎 日暑い日が続いています。今年は冷夏と予報され、心配していましたが予報がはずれ、作物は順調ですね。

(温根湯地区・木村 キミ子さん)

本当にその通りですね。作物も順調に育っているようで良かったです。これからも暑い日が続くそうなので、収穫期も熱中症等に気を付けましょう!

子 ども達が田んぼで田植え機が楽しいです。手植えのスタイルがとても良く、ウキウキします。農業は大事ですね。

(匿名希望)

子ども達の田植えをする無邪気な姿は、キラキラしていて新鮮でいいですね。これからも農業の大切さを伝えていけるようにしたいですね!

色 々な情勢が農業全般に影響しています。ますます腰の強いJAの体制になることを期待しております。

(端野地区 村口 隆一さん)

農業の情勢は年々変化していますね。これからの変化に対応しつつ、農家・農協が協力して強い農業・強い農協づくりをしていかなければなりませんね。

暑 さが続きます。水分を多くとって元気で夏を過ごしましょう。秋には豊作になりますようにね。

(相内地区・高橋 美智子さん)

暑い日が続いていますね。水分・塩分をとって時にはビールも!暑い夏を乗り切りたいですね!豊作の秋を願っています(^ ^)

元気な先輩

留辺蘂地区・むかよしお
田辺 誠郎さん
(75歳)



仕事後の一杯が毎日の楽しみ

誠郎さんは留辺蘂高校を卒業した後、電信電話公社(今のNTT)に務め19歳の時に就農しました。当時は乳牛8頭、育成牛5頭を飼育し、13畝の畑を1頭の馬で耕していたそうです。

昭和46年に誠郎さんの父親が組合長になるということで、誠郎さんに経営を移譲され、その年に規模拡大を図って9畝の畑を購入し、45馬力のトラクターも導入したとの事でした。買った畑は、もともとワサビを植えていた畑だったということで「畑を耕す際、根が深くとも苦労した」と苦労話を聞かせてくれました。

その後更に規模拡大を図り、平成14年には息子の雅郎さんに経営を移譲し、現在は約80畝の畑と、165頭の乳牛を飼育しています。

誠郎さんはまだまだ現役で搾乳以外の餌やりからすべてを行っていて、「仕事後の一杯が毎日の楽しみ」と、話してくれました。

(梅澤 大)

ほのぼのの広場

大きくなったら



端野地区・川向
丸本 桃佳ちゃん(6歳)

アイス屋さんになりたい!!

わたしは、大きくなったらアイス屋さんになりたいです。特にいちごアイスが大好きなので、家族やお友達に美味しいアイスを作ってあげたいです。

今は、自転車の練習に夢中です。早く、補助輪を外して乗れるようになりたいな。

丸本仁さん、有香さん夫婦の長女です。笑顔でお話してくれました。来年から小学校に通うのを楽しみにしています。

(横田 佳織)

思い出の写真

この写真は人生初めての飛行機で出発前の緊張気味の一枚。昭和38年に共済契約者優待飛行に参加された時の集合写真です。

昭和35年に分家して良夫さんが経営主になって3年後、共済に加入すると優待飛行に招待されるということで、飛行機に乗りたいがために生命共済に加入したそうです。

温根湯からみんなでバスに乗り女満別空港まで行き、空港から飛び立ち温根湯の上空を遊覧飛行し、それぞれ自分の家や畑などを眺めました。「あまりにもきれいな景観につい下ばかりを見すぎて酔ってしまって、帰りは早く飛行機を降りたかった」とのこと。他の参加された方々もそれぞれ飛行機の窓から、普段見られない空から見る温根湯の町並みを眺めていたそうです。

(梅澤 大)



▲共済優待飛行に参加した方々
2列目右から1人目が菅原さんです。

温根湯の上空を遊覧飛行

温根湯地区・花丘

菅原 良夫さん(82歳)



INFORMATION

支部間交流でリフレッシュ! ～フレミズ初のエリア合同視察研修～

この程、JAきたみらいフレッシュミズは初のエリア合同視察研修を1泊2日で行いました。6月23日、他エリアに先駆けて西エリア14人が視察先に向け出発。東エリアの20人と南エリアの16人は7月1、2日の研修となりました。

南エリア、西エリアは雪印メグミルク工場とカルビー千歳工場の見学を行いました。カルビー工場では揚げたてのポテトチップスが袋詰めされる光景に釘付け。会員のみなさんは自分たちが生産しているものがどのように加工されているのか興味津々の様子でした。

東エリアは札幌さくらんどにて生キャラメルづくりに挑戦。家で待つ家族に手作りのお土産を持ち帰りました。またキリンビアパーク千歳での工場見学では、試飲や試食を楽しみながら製造方法の説明を受けていました。

夕食時の懇親会はどのエリアも支部混合の座席にするなど、交流を深めるため支部長を中心に趣向を凝らしました。チーム対抗戦のゲームも大いに盛り上がり、笑いの絶えない時間となりました。翌日は千歳アウトレットモールで自由行動。普段はゆっくりすることの出来ないショッピングの時間を存分に楽しみました。

1日目の懇親会では仕事や育児を忘れリフレッシュした様子のみなさんでしたが、帰宅時には家族のために買ったお土産を両手いっぱいを持っていました。来年度以降の視察先には農産物の加工工場や直売所を希望する意見もいただき、会員の学習意欲も感じられた視察研修となりました。(石井 睦美)



▲カルビー千歳工場を見学した南エリアのみなさん

ホームページ リニューアルしました

きたみらいのホームページが7月3日にリニューアル公開しました。より見やすく改良され、全国の消費者へこれからは情報を発信していきます。加工商品の購入もホームページから行えますので、是非一度ご覧下さい。
<http://www.jakitamirai.or.jp/>

一期一会を大切に ～青年部 女性との交流会～

きたみらい青年部ではパートナー対策事業として、女性との交流会が各支部で行われました。北見支部が6月21日に治助で開催したのを皮切りに、訓子府支部が7月5日にホテルロイヤル、端野支部が7月12日に味覚園で開催しました。3支部の実施で青年部員計38人、女性計29人が参加し、一期一会を大切に交流を深めていました。

(高田陽介)



▲ホテルロイヤルで交流を深める参加者のみなさん

きたみらい野球部 全道大会出場決める

7月16日、17日に行われた農協野球大会にてJA美幌との決戦を9-7で制し、全道大会出場を決めました。投げては赤坂投手、打っては梅澤選手が活躍し、チーム一丸となつての勝利でした。

8月26日からの全道大会でも躍進を誓いますので、応援のほどよろしくお願い致します。

(高田 陽介)



▲熱戦を制したきたみらい野球部

TPP「環太平洋パートナーシップ」は、太平洋に面する加盟国の国々の間で貿易の自由化を促進させて、国の経済を発展させるべく政府が進めている国際条約です。農業をはじめ工業製品、検疫など様々な分野で自由化の論議がなされています。

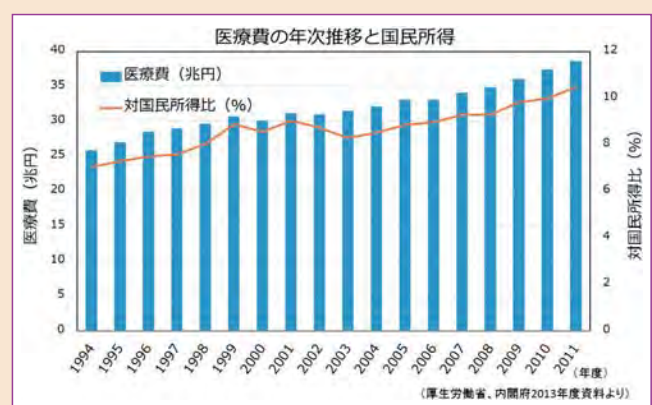
ここではTPP・規制改革が私たちの受けている医療にどのような変化をもたらす可能性があるか、お話を進めてみたいと思います。TPPだけでなく規制改革を併記したことは理由があります。現在論議が繰り広げられている規制改革会議の項目中には、従来TPPで論議されようとしていた項目が組み込まれているからです。TPPの多国間協議のテーブルで緩和を目指すのではなく、日本国内で規制緩和を実施しようとするものです。私たちの受けている医療に直結する論点となりますので一緒に考えていきたいと思います。

混合医療の規制緩和とは?

TPPと同時進行で動いているのが政府の規制改革会議です。TPPと直接的な関係はありませんが、論議する内容には近似しています。この規制改革会議で医療分野として大きく取り上げられているものが、「患者申出療養」(仮称)という制度です(平成26年6月10日、新聞報道)。いわゆる混合診療と言われるもので、現在は国民皆保険の医療保険制度の下で保険適用と保険適用外(自由診療)のものを併用することは原則できません(評価療養、選定療養を除く)。保険適用が認められた医療行為だけが医療保険制度として支払われ、もし保険適用外の医療を受けること全額が自己負担となります。

2014年6月末にとりまとめられる予定の患者申出療養は、保険適用部分と、保険適用外部分とを併用するいわゆる混合診療を認めようとするものです。現在までの報道では、(1)患者さんの希望に沿って幅広い分野の医療を受けられるようにする。(2)患者申出療養を受診できる病院数を全国的に展開する。(3)現在の評価療養では6～7ヶ月要している審査期間を申請から2～6週間以内にする。などが挙げられています。外国では承認されているものの、国内では未承認の薬を求めている患者さんも多く、この制度の推進に賛成の方も多いでしょう。しかしながら、本制度の推進には問題点も多く含んでいます。

ひとつに、保険適用されていないものを医療行為とすることは、安全性・有効性に問題を生じる可能性があります。現在の保険制度の下での医療行為は、臨床試験を経て安全性・有効性が裏付けられたものです。しかしながら患者申出療養が認められるようになると、安全性・有効性試験が十分でないものが医療として認められる可



根本 昌宏 氏 略歴
＜所属＞
日本赤十字北海道看護大学
看護薬理学領域 准教授
薬学博士 薬剤師
＜出身＞ 茨城県水戸市
＜略歴＞
平成4年3月/北海道医療大学
大学薬学部薬学科卒業
平成6年4月/日本メジフィジ
ックス株式会社 中央研究所薬
理学研究員
平成11年4月/日本赤十字北海
道看護大学 助手
平成14年3月/北海道医療大学
薬学部薬学研究科薬理学専攻博
士課程修了 薬学博士
平成14年/ロンドン大学 セン
トジョージ病院 生理学教室留
学
平成17年4月 現職

連載 TPP交渉について③ TPP・規制改革と私たちの 医療を考える その2

性があります。医療行為による有害事象が出現したときの対応は保険適用外となり、多額の自己負担を生じる可能性があります。新薬の承認に時間がかかるいわゆるドラッグラグの解消のために混合医療を認めるというのではなく、ドラッグラグ解消のための施策の実施を先に進めるべきでしょう。

さらに、医療費負担にも大きな変化を生じる可能性があります。ある種の医療行為を受けるためには高額な自己負担費用が必要となるのが想像できます。たとえば、現在も評価療養として混合診療が認められているがん治療のひとつに重粒子線治療があります。この治療の自己負担は約300万円であり、健康の維持に一人ひとりの経済状況とが関係してきています。

自由診療部分は国民皆保険ではカバーできない医療行為であるため、民間医療保険に加入するケースが増えるでしょう。国民にとっては新たな負担となりますが、アメリカの大手医療保険会社にとっては大きな追い風となります。

約40兆円にもものぼる日本の保険医療費を見直すことは極めて重要です。しかし一人ひとりの大切な命を社会全体で守るという考えは、日本人として守り抜くことが必要なのではないでしょうか。医療における規制は、安心・安全を守るために作られてきたものがほとんどです。改革ありきではなく、安心・安全を第一にした規制の見直しを進めていただきたいと思います。

INFORMATION

平成
26年度

オランダ農業視察研修 JA役員 22名が参加

JA役員は6月28日～7月4日の6泊7日で、オランダ農業視察研修を実施し、役員22名が参加しました。紙面の都合上、視察先を抜粋して報告致します。

デヨング・フワワーズ視察 (オランダのゆり栽培農家)

7年前に露地栽培から経営開始し、その後温室栽培にも事業拡大し、現在、露地4畝温室5畝経営しているとのことでした。

父親が酪農業をしていたこともあり農業そのものには興味があったが、販売を直接やってみたいという気持ち強く、ユリ栽培の道を選んだということでした。

経営開始に必要な資金はオランダにJA組織がなく銀行対応。融資を受けるに当たり自己資金が30%程度必要とされています。(オランダの銀行はAランクで融資が厳しい証)

露地栽培ゆりの90%はイギリスのスーパーマーケットへ直接販売、温室栽培は主に東ヨーロッパへ輸出しているが、直接販売以外にフローラホランドという共同組織を結成し、

生産物の相対取引仲介を委託しているのが特徴的でした。

経営収支は売上高が1㎡当たり80ユーロ(10㎡当たり1120万円)で温室施設の初期投資の資金返済、生産に必要な経費負担を差引くと所得率は5%あれば良い経営とのことであり日本と比較して厳しい現状にあると感じました。



▲5畝の巨大温室で栽培されるゆり

オランダの農業支援の現状をお聞きしたところ「食用作物には一部補助政策はあるが、鑑賞用の花卉栽培には支援は無い」とのお話でした。特徴的な点は特に環境配慮した農業の工夫が随所に見られ、雨水を貯める貯水槽の設置や温室周辺に貯水する堀を設置して灌水や液肥の葉面散布用に再利用しているのが印象的でありました。

パプリカの温室栽培 再生エネルギーの活用

オランダ最大のパプリカ農家であるファルスターブラザーズを訪問しました。

3・5畝の温室(仕切りのない巨大温室)にて7年前から経営スタートしたとのことでした。

全てロックウールによるつり床栽培で一年中収穫され、主にイギリスへ輸出しています。

経営の特徴は、光合成を促進させるために地元の石油会社から精製の際に発生する二酸化炭素を年間5万ユーロで購入し、栽培促進に活用し



▲3.5mにもなるパプリカ、管理、収穫作業も専用機械を活用

オランダ農業の概要

国土は日本の10分の1程度だが、そのうち46%が農地面積であり、日本の割合が12%であることと比較すると非常に高い。また、ほぼ平坦で国土の40%が海面下といった特徴があります。北海道と同じ温暖な気候を活かして生乳生産・畑作・野菜など様々な農畜産物の生産が行われています。特にオランダではグリーンポートという生産・物流メリットを発揮できる農業特区を指定し、国外輸出も積極的に展開しています。オランダの国民性は「質実剛健」まさに農業においても自然の恵みを無駄にせず、再生エネルギーを活用した環境にやさしい農業が展開されています。

ています。

またオランダの生産エネルギー推進政策に沿って、自然エネルギーを活用した自家発電システムを設置。その発電による温水を循環させ温室暖房に利用し、更に温室に降る雨は貯水槽に集めて、液肥散布に再利用するなど自然の恵みを無駄にしない農業が特徴的でありました。また害虫(アザミウマ)の天敵農法も取り入れる等、安全性に配慮した栽培を展開していました。



▲温水が循環したレール(暖房兼収穫機線路)

収穫したパプリカは温室と繋がっている選果場まで運ばれますがその際「暖房と作業機の線路を兼ねたレールを活用している。また収穫されたパプリカはこのレール毎にトレーが管理されている」と説明を受けました。選果場ではカメラによる分別によ

って箱かミニコンに詰められ出荷されています。

オランダにはJA組織がなく、大手の企業の仲介によって大半を販売していますが、マーケットに対する影響力が十分に発揮できず苦労しているようで、日本のように販売事業を行う協同組織があることを羨ましいと話していました。

ホランセクロン市研修 副市長との懇談会

◆市の概要

過去に行政合併した広大な面積の市で、土地開発企業から「大規模温室栽培がオランダには必要」との提案があり、国や州に対して農業の拠点化構想と物流整備を訴えた。その際、広大な耕地、国道、空港、港など恵まれた立地条件を活かして州としてグリーンポート構想を提案し、現在は市全体の約70%が農地として活用されている農業中心の行政を構築した経過にあります。国全体の温室農業生産額が約1兆1200億円のうち当市が約30%を占める。

◆グリーンポート政策がもたらしたメリット

農業者が集積されると同時に関連企業も集積され、新たな雇用拡大に連結し、オランダのみならず、近隣諸国の人たちが職を求めて移住した

ことから人口増加と年齢階層分布も大きく変化(若返り)し、更なる地域活性化に波及していきました。自家発電した電力を農業経営に活用し、またボーリングで得た90℃の地下水を温室に活用することでエネルギー20%削減効果を生んでいます。



農地の売買等は農業委員会組織がなく、オランダでは不動産業者が仲介するか、直接当事者間の交渉で行われ農地価格は700千円～840千円/10㎡と日本と比較して高いが、1960年代から農業経営してきた国民は土地高騰のパブル経済の波に乗って、土地売却代金を資本として更に事業拡大を図ることが可能であったことも背景としてあるとのことでした。

オランダの研修を終えて

今回のオランダ農業研修を通して、農業が国の食料安保だけでなく、経済発展に大きく寄与していることを強く感じました。また、自然の恵みは無駄にしないという再生エネルギー活用の実践は学ぶ点が多くあり、きたみらい地域における農業にも可能なものは取り入れる検討が必要と感じました。また農産物の安全性や生産販売の品質管理においても最新技術が導入されていました。更に一歩上を目指す必要があると感じました。ここまで農業技術の最先端をゆくオランダですが、所得率が5%程度と非常に日本と比較すると低く、協同組織の無いオランダでは販売面や農業融資で苦慮しているとのことでありました。我がJAとしても、組合員の皆様が農業経営に連結する各種事業の重要性と組合員から期待されているJAの在るべき姿を再認識し、更なる事業推進によって組合員の営農と生活レベルの向上は勿論のこと地域経済への貢献に更に邁進して参りたいと思います。

◆市としての農業支援政策
環境配慮や健全経営農業者に減税措置を講じた。また市は銀行が融資する際に低金利融資とする様働きかけを実施。
農業を地域の中核的産業として活性化すれば、必然と地域の活性に連結することを改めて痛感しました。

INFORMATION

第6回 理事会報告

7月30日、午前9時より第6回定例理事会が開催され、報告事項13件、議決事項6件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査（個人情報保護・情報セキュリティ対策）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④人事の発令について
 - ⑤CSRレポート2014の発行について
 - ⑥平成26年度夏期地区別懇談会意見集約について
 - ⑦作況調査（7月15日）報告について
 - ⑧平成26年度作付実態調査の集約について
 - ⑨JAきたみらい口蹄疫発生時対応マニュアルについて
 - ⑩第11回JAきたみらい乳牛共進会について
 - ⑪生乳生産状況及び個体取引価格について
 - ⑫H26年産馬鈴しょ、玉ねぎ保管選果計画について
 - ⑬H25年産共計玉ねぎ、馬鈴しょの本精算について

- 【議決事項】
- ①出資減口及び持分譲渡について
 - ②固定資産の取得及び処分について
 - ③H26年産生乳生産の取り進めについて
 - ④JAきたみらい玉ねぎ集出荷施設検討委員会の設置について
 - ⑤へブタクロル見舞金制度要領の改定について
 - ⑥野菜ハウス導入事業について

◆催し物のご案内◆
8月24日(日) たんの太陽まつり

第37回 たんの太陽まつり

8月24日(日) AM9:00~

北見市端野町公民館様広場

会場内にテント張りはできません

お楽しみ大抽選会
PM1:30~PM2:30
焼肉
PM11:00~PM12:00

お知らせ
みんなで花火をあげよう!
9/23(土) 大規模花火大会

農産物・もちまき
秋葉祭典(端野小・端野中)
キッズフェス
ハートウォーミング
北見農業高校マーチングバンド
大観客コーナー

夏期地区別懇談会終える

活発な意見や質問が123件

懇談会日	地区	組合員戸数	出席戸数	出席者数	出席率
7月14日	温根湯	75	24	28	32.0%
7月11日	留辺蘂	36	15	21	41.7%
7月16日	置戸	112	42	49	37.5%
7月11日	訓子府	304	47	54	15.5%
7月10日	相内	96	30	35	31.3%
7月10日	上常呂	121	19	19	15.7%
7月15日	北見	207	50	54	24.2%
7月15日	端野	206	57	64	27.7%
	合計	1,157	284	324	24.5%

7月10日から16日までの5日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族のみならずなど284戸324人が出席しました。

JAからは、常勤役員と西・南・東の地域毎に役員が出席し、地域運営委員長の司会により進行しました。3時間という限られた時間のなか、8会場において次の項目について説明した後、数多くの組合員のみならずから活発な意見や質問が延べ123件出されました。

- 懇談会では
 - ・ 営農指導事業から
 - ・ 「土地改良事業の取り組みについて」
 - 販売事業から
 - ・ 「各農産物の情勢」
 - ・ 「購買事業から
 - 購買事業から
 - ・ 「生産資材・燃料情勢」
 - ・ 「平成27年度 資材事業体制について」
 - 総務企画部門から
 - ・ 「女性・青年農業者のJA経営への参画の促進について」
 - ・ 「その他」
- 以上の他に、「生産者組織の状況」などを説明しました。
- なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、8月開催の第7回定例理事会で協議した後、「Q&A」にてお知らせ致します。



▲意見を述べる相内地区の川岸 一繁さん

退職のお知らせ

平成26年7月10日付で職員の退職となりましたのでお知らせ致します。

在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様の御厚情を頂き誠にありがとうございました。



石黒 夢
(旧姓 小野寺)
(営農振興部 企画振興グループ)

- ・ H23.4 きたみらい農協入組
- ・ H23.5 営農振興部企画振興グループ

■在職期間 3年

お詫びと訂正

先月号(138号)のおひさまサラダで、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

P4 写真説明：役職員⇒常勤理事

◎9月6日(土) きたみ de 街コン
興味のある方は、同性2名1組でのお誘いの上、お申込み下さい。

2014 きたみ de 街コン

北見市指定飲食店を移動しながら時間内に「きたみ」お店・新メニュー・お誘いを

参加男女募集

9/6 sat 18:00~21:30 (受付 17:20~)

募集人数 男性150名 × 女性150名 参加方法 同性2名1組

参加費用 男性5,000円 女性4,000円

参加資格 2014年3月31日現在で20歳~50歳の独身男女

申込方法 下記URLからサイトにアクセスしてお申し込みください。
<http://kitamide.com/>

お問い合わせ先：きたみ de 街コン実行委員会事務局 TEL 0157-23-4111 (大野・古川)



▲35人が出席して開かれた、相内地区事務所での懇談会



夏野菜とイカのピリ辛炒め

【エネルギー約407kcal(1人分)】

【作り方】

- ①イカは内臓、目、くちばしを取り除き、胴は輪切りにする。足は食べやすい大きさに切る。
- ②ナス、パプリカ、ズッキーニは大きめの乱切り。トウモロコシは皮をむき、包丁で実を芯から切り取る。ニンニクは芽を取り薄切り、ショウガも薄切りにする。
- ③フライパンにごま油大さじ2とニンニクを入れ、香りが出たらショウガ、ナス、ズッキーニを加えて炒める。
- ④全体がしんなりしてきたらパプリカ、トウモロコシ、イカを加え、イカが少し白っぽくなったら合わせ調味料を入れて炒め合わせる。

メモ

夏場が旬のスルメイカと野菜を、サッと炒め合わせて作るピリ辛なおかずです。暑くて食欲がないときにも、ご飯やビールが進んでしまう嬉しいメニュー。イカは炒め過ぎると硬くなりますので、手早く仕上げましょう。豆板醤の量で、お好みの辛さに調整してお召上がりください。

【材料：2人分】

- | | |
|-------------|--|
| スルメイカ ……1杯 | 合わせ調味料
酒 ……大さじ1
みりん ……大さじ2
塩 ……小さじ2
酢 ……大さじ2
豆板醤 ……小さじ1/2 |
| ナス ……1本 | |
| パプリカ ……1/2個 | |
| ズッキーニ ……1本 | |
| トウモロコシ ……1本 | |
| ニンニク ……1片 | |
| ショウガ ……少々 | |
| ごま油 ……大さじ2 | |

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



イタリアンそばサラダ

【エネルギー約504kcal(1人分)】

【作り方】

- ①トマトとミョウガはさいの目切りにし、合わせ調味料に入れて冷蔵庫で冷やしておく
- ②キュウリとダイコンは細千切りにする
- ③ポーチドエッグは鍋に湯を沸かし0.5%の塩(材料外)を加え、殻を割った卵をそっと落とし入れ、約3分ですくい上げる(卵の白身は自然に丸く集まってきますが、バラバラの場合は菜箸で寄せる)
- ④そばはゆでてから冷水にさらし、水気をきる
- ⑤皿にそばを盛り①のトマトソースをたっぷりがけ、キュウリとダイコンを添え、ポーチドエッグをのせ、仕上げにこしょうを振る
- ⑥全体を混ぜ合わせていただく

メモ

おそばにたっぷりの生野菜とポーチドエッグをのせ、フレッシュトマトソースでいただく、暑い日にピッタリな一品です。2種のトマトが甘みと酸味を引き出し、とろーり卵がおそばによく絡み、こくをプラス。色々な野菜をトッピングしてお召上がりください。

【材料：2人分】

- | | |
|---------------------------|--|
| ゆでそば ……2人前 | 合わせ調味料
レモン汁 ……大さじ1
塩 ……小さじ1.5
しょうゆ ……小さじ1
EVオリーブ油 ……大さじ2 |
| トマト(中) ……1個 | |
| フルートマト ……1個 | |
| キュウリ ……1本 | |
| ダイコン ……50g
(キュウリと同量程度) | |
| ミョウガ ……1本 | |
| 卵 ……2個 | |
| こしょう ……少々 | |

編集後記

・ 今月号の特集では各地で行われたおまつりについて取り上げていきます。収穫時期を迎え忙しくなりますが、今後も端野の太陽まつりや盆踊り、花火大会など楽しいイベントも目白押しです。

・ 今後一ヶ月の気温は平年より高めと予想されています。引き続き熱中症や農作業事故には充分にお気をつけください。

・ 企画振興グループにきてから三ヶ月が経とうとしています。取材で組合員みなさんのお話を聞けるのは楽しいですが、いざ記事を書くとなるとなかなかまとまらず苦戦しています。勉強と経験を積んで読みやすい広報誌作りに努めます！ (石井 睦美)

JAきたみらい概要

(平成26年7月18日現在)

- ・ 組合員数(正) 1,762人
- ・ 組合員数(准) 5,791人
- ・ 組合員戸数(正) 1,156戸
- ・ 貯 金 100,719百万円
- ・ 貸 出 金 23,257百万円
- ・ 出 資 金 5,019百万円